

パピルス

上越市立図書館だよりNo.245

2018(平成30)年8月1日発行

編集・発行 / 上越市立図書館

☎高田図書館 025-523-2603

☎直江津図書館 025-545-3232

ホームページ <https://www.lib.joetsu.niigata.jp/>

メールアドレス t-toshokan@city.joetsu.lg.jp

*パピルス…古代エジプトで使われた、草の茎から製した一種の紙

高田図書館と小川未明文学館の 夏休み最後のイベント！

8/26
(日)

としょかん夏まつり

午前
11:00



『母の友』より 撮影：三村健二

■のむらさやかさん のおはなし会

上越市出身の絵本作家のむらさやかさんによる、絵本とウクレレのおはなし会！

ちょっと珍しいこの機会を、ぜひ、お楽しみ下さい！

午後
1:00から
6:00まで



■貸出カードケース をつくろう！

図書館の貸出カードをしまっておける、自分だけのカードケースを作ります。

小川未明文学館 こども祭

午前
10:00から
午後
6:00まで



■小川未明ペーパークラフト

小川未明の『月夜と眼鏡』にちなんで、数種類のペーパークラフトを作成します。会場内では、完成した作品で、かげ絵遊びをすることができます。

また、午後2時から、未明童話『月夜と眼鏡』『くらげのおばさん』などのおはなし会も行います。

絵本とおはなしのへや

「読み語りジャックの会」のみなさんによる、特別なおはなし会です！（参加費・申込み不要）

日時：8月4日(土) 午後2時から2時45分

会場：直江津図書館(2階多目的ホール)

日時：8月11日(土) 午後2時から2時45分

会場：高田図書館(1階第1会議室)

上越ケーブルビジョン株式会社 様より、多数の児童図書をお寄せ いただきました！

同社が行っているチャリティーゴルフ大会の参加費の一部を、児童の図書の充実のために、と平成25年度から毎年寄贈いただいているものです。

ぜひご利用ください。

直江津図書館からのお知らせ

川端誠さんの絵本原画展示

上越市（旧・高田市）出身の絵本作家、川端誠さんの懐かしの絵本『かえってきた風来坊』の原画を2階こどもとしょしつにて展示中です。

※8月9日（木）までは絵本の前半部分、8月10日（金）から28日（火）までは後半部分を展示します。（休館日除く）

『川端誠さん絵本ライブ』8月19日（日）14:00～15:30

◆定員 100名（要申込）

※詳細は、別途ちらしをご覧ください。

真夏のこわいおはなし会



小学生を対象に、怪談絵本の読み聞かせやこわい本の朗読をします。（こわくなったら途中退場OK!）

8月11日（土）16:00～16:30

◆会場 2階多目的ホール

◆申込不要・無料

問合せ 直江津図書館
☎ 025-545-3232

高田図書館創立110周年記念

「思い出の図書館」募集中！

明治41年（1908年）6月27日に「県社神社三百年記念立高田図書館」が私立図書館として開館し、今年で創立110周年を迎えました。

これを記念して、高田図書館や図書館で読んだ本の思い出を募集しています。

■応募先 高田・直江津図書館、浦川原・頸城分館の募集箱、または図書館のホームページのメールフォームより思い出をお寄せください。

■募集期間 平成30年11月9日まで

※お寄せいただいた「思い出」は、高田図書館内に掲示させていただくほか、図書館日より『パピルス』で紹介させていただく場合があります。

これまでお寄せいただいた皆さんの「思い出」の中から一部を紹介します。

『おもしろそうな本を見つけた時』

よく、高田図書館でおもしろそうな本を見つけます。そんな時、よみたい!と思います。そして、読むと、おもしろいなって思います。そのあと、本のうしろにのっているほかの本を見て、これおもしろそうだなと思った本を、高田図書館で見つかりました。私は、本が好きなので、これからも、高田図書館でたくさん本をかりて、おもしろい本に会いたいです。（瀬谷日和さん 10歳）

『落ちつける空間』

私は小学生のころから図書館を利用しはじめました。「魔女の宅急便」や江戸川乱歩シリーズを夢中になって読んだことを覚えています。中学校に入り、なんとなく学校に行きづらくなったときにも、よく図書館に来ていました。図書館は、家の次に、私の落ちつける空間です。これからも、高田図書館を利用し続けると 생각합니다。これからも、どうぞよろしくお願ひ致します。（はるすさん 16歳）

『図書館を利用して60余年。』

小学校中学年時に母から連れて行ってもらったのが図書館利用のはじまりです。以来、場所が変われど、ずっと週に2～3回は利用させていただいています。高校時代は、友人と棚からやみくもに引っぱり出し色々な作家に出会いました。活字が大好きなので、手元に本が無いと落ちつかず、いつも予約をいっぱいいれさせてもらっています。高校生の思い出は、借りたデュ・モーリアの「レベッカ」が気に入り友人にすすめました。彼女は「駄目だ。読めない。」と返そうとしました。確かに第一章二章位は単調なのですが、それを乗り越えればストーリーの世界に入っていくのです。それを教え彼女も完読しました。初版はS35年。55年以上経った今も大好きな本の一冊です。人生の中に本を読むことがあったことを最高の幸せに思い、それを満たしてくれる図書館に感謝しております。（長田朝子さん 70代）